

平成22年度環境対応技術開発等  
試験機関処理能力等調査事業  
【経済産業省委託調査】

試験機関能力調査（アンケート調査）  
結果の公表について

平成23年3月31日



## 目次

1. 調査の目的及び調査の概要.....	1
1.1. 調査の目的.....	1
2. 試験機関能力調査アンケート調査.....	2
2.1. 調査の背景と目的.....	2
2.2. 調査方法.....	2
2.2.1. 調査対象試験機関および調査方法.....	2
2.2.2. 調査票の設計.....	3
2.3. 調査結果.....	3
2.3.1. 回答数.....	3
2.3.2. 試験実施の可否とGLP基準適合確認状況.....	4
2.3.3. 試験所要期間.....	16
2.3.4. GLP基準以外の認証取得状況.....	20
2.3.5. 各種申請書類の作成等のサービス、IUCLID5形式へのデータ入力.....	20
付属資料 回答試験機関一覧	

## 1 調査の目的及び調査の概要

### 1.1 調査の目的

---

## 1. 調査の目的及び調査の概要

### 1.1. 調査の目的

昨今の化学物質を取り巻く環境は大きく変化しており、化学物質固有の有害性のみに着目した管理から、暴露状況を含めたリスク評価に基づく総合的な管理へと移行してきている。また、2002年に開催された環境サミットにおいては、「2020年までに化学物質による人の健康や環境への影響を最小化する」との合意がなされ、これを達成するための取り組みが世界的に進展している。

こうした流れを受け、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律の一部を改正する法律（改正化審法）」が平成21年5月に公布された。本改正により、平成23年4月1日から製造・輸入事業者は、毎年度化学物質の製造輸入数量・用途等を国に届出ることとなり、国は届出を踏まえて優先的にリスク評価を行う化学物質を選定し、選定した化学物質について段階的にリスク評価を実施していくこととなるが、より正確な国の評価を実施するためには、製造・輸入事業者からの届出や事業者からの任意の報告情報等、化学物質についての有害性情報について幅広く収集し、活用していく必要がある。

従って今後においては有害性情報取得のニーズが急増することが予想されるところ、試験機関等における能力を調査することが化学物質管理政策において重要である。

そこで、国内外の有害性試験を実施する機関を対象にアンケートを実施し、国内外の化学物質試験の実施状況等の、法施行の根底にある分析能力や試験需要の変化に関する情報を聴取し、長期的な試験所の在り方の検討に活用する。また、アンケート調査の結果を踏まえて、化学物質審査規制法 HP を活用し、今後の有害性調査報告時に資するよう事業者に公開する。

2 試験機関能力調査アンケート調査  
2.1 調査の背景と目的  
2.2.1 調査対象試験機関および調査方法

---

## 2. 試験機関能力調査アンケート調査

### 2.1. 調査の背景と目的

平成 21 年の化審法の改正により、国が優先的にリスク評価を実施すべき化学物質を選定し、リスク評価を実施していくこととなるが、正確なリスク評価を実施するためには事業者及び研究機関からの報告等、有害性情報の収集が必要である。事業者にとっても、国によるリスク評価結果が不要に安全側となることのないよう、自ら有害性情報を取得し、国に報告しようとするニーズが増大すると考えられる。このような有害性情報取得のニーズの急増に対し、現在の試験機関の請負能力を把握し、今後の試験機関のあり方を検討するための基礎情報を収集する。

また化審法の改正に対応するため新たに有害性情報を取得しようとする事業者及び研究機関にとっては、試験実施の依頼が可能な試験機関に関する情報が必要となる。このためアンケートの調査項目では、実施可能な試験項目に加え、所要期間、各種認証（GLP、ISO 等）の適合確認状況等を含め、実際に試験の実施を依頼する場合の発注先選定にあたり有益と考えられる情報を提供する。

なお、情報提供は経済産業省の化学物質審査規制法ホームページを通じ広く行うものとする。

### 2.2. 調査方法

#### 2.2.1. 調査対象試験機関および調査方法

##### ① 国内試験機関

国内試験機関については、化審法における GLP 基準への適合が確認されている試験機関 38 機関を対象とした。アンケート調査方法の概要は、図表 2.2-1 に示すとおりである。

図表 2.2-1 国内試験機関 アンケート調査方法

項目	内容
実施期間	2011 年 2 月 21 日～3 月 10 日
アンケート方式	依頼状、紙面調査票及び CD-R（調査票 Excel ファイル版を記録）を送付。 －紙面調査票は郵送 －Excel ファイルはメールで回収した。

##### ② 海外試験機関

海外の試験機関については、化審法の審査手続き等で実施実績が確認されている試験機関を中心とし、国内事業者・研究機関が発注する際に利用しやすいと考えられる日本国内に営業所や代理店を有する試験機関 21 機関を対象とした。アンケートへの協力依頼は、21 機関の国内代理店を務める事業者 11 社に取次を依頼した（国内代理店のうちの一部は、複数の海外試験機関の代理店業務を務めている）。アンケート調査方法の概要は、図表 2.2-2 に示すとおりである。

## 2 試験機関能力調査アンケート調査

### 2.3 調査結果

#### 2.2.2 調査票の設計

図表 2.2-2 海外試験機関 アンケート調査方法

項目	内容
実施期間	2011年2月25日～3月17日
アンケート方式	国内代理店宛にメールや問い合わせフォームから依頼。 協力可能と回答のあった代理店に対し、依頼状、調査票 Excel ファイル版をメール送付し、海外試験機関に送付していただいた。 回答は、国内代理店を通じ、メールで回収した。

#### 2.2.2. 調査票の設計

##### (1) 調査項目概要

調査項目の概要を、図表 2.2-3 に示す。

国内試験機関全体の試験実施能力を把握するため、試験実施の可否と GLP 適合状況について調査した。

また、化審法の改正に対応するため新たに有害性情報を取得しようとする事業者及び研究機関にとっての参考となるよう、試験の所要期間、品質管理等の認証取得状況、申請書類の作成サービスの有無についても調査した。

図表 2.2-3 調査項目の概要

項目	内容
基本情報	・事業者名、部署名 ・連絡先
試験実施の可否	・試験項目毎の実施の可否
GLP 基準適合状況	・化審法 GLP 基準適合の有無あるいは取得予定 ・化審法以外のその他 GLP 基準（医薬品（非臨床）、農薬、労働安全衛生法）の適合の有無
試験実施に関する情報	・所要期間
品質管理等の認証取得状況	・ISO9001 や ISO/IEC 17025 等の取得状況
申請書類の作成サービス	・各種申請書類の作成等のサービス ・IUCLID5 形式への入力対応
その他アピールポイント	・自由記述

### 2.3. 調査結果

#### 2.3.1. 回答数

##### ① 国内試験機関

国内試験機関については、38 件中 35 の試験機関から回答を得た（回答率 92.1%）。ただし、うち 3 件は病理標本作製等試験の一部についての受託を行っているのみであったため、有効回答は 38 件中 32 件（84.2%）であった。

##### ② 海外試験機関

海外試験機関からは、代理店 6 社を通じて 21 機関中 14 の試験機関から回答を得た（回答率 66.7%）。

## 2 試験機関能力調査アンケート調査

### 2.3 調査結果

#### 2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

---

##### 2.3.2. 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

OECD TG 毎の試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況を示す。

###### ① 国内試験機関

回答のあった 35 機関のうち、病理試験のみを行っている 3 機関を除く 32 機関から回答を得た。32 機関の試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況を、図表 2.3-1～図表 2.3-5 に示す（実施可能な試験は○印、今後 GLP 基準適合確認を申請する予定のものは△印で示した）。

2 試験機関能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

図表 2.3-1 国内試験機関の試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況 その1 (物理化学的性状)

試験分類		物理化学的性状に関する試験																				
試験名		融点/溶融範囲			沸点			蒸気圧			1-オクタノールと水との間の分配係数			水溶解度			水中における解離定数					
TG No.		102			103			104			107		117	107/117			105			112		
NO.	ラボ名	実施の可否	農薬 GLP	OECD GLP	実施の可否	農薬 GLP	OECD GLP	実施の可否	農薬 GLP	OECD GLP	実施の可否	実施の可否	化審法 GLP	農薬 GLP	OECD GLP	実施の可否	農薬 GLP	OECD GLP	実施の可否	農薬 GLP	OECD GLP	
1	一般財団法人化学物質評価研究機構	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	三菱化学メディエンス株式会社										○	○	○	○	○							
3	富士フィルム株式会社										○	○	○			○						
4	広栄テクノ株式会社										○	○	○	○		○	○			○	○	
5	三菱瓦斯化学株式会社																					
6	株式会社クレハ分析センター										○	○	○		○							
7	株式会社日曹分析センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
8	保土谷コントラクトラボ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	株式会社エコキシロロジー研究所											○	○			○				○	○	
10	株式会社ユービーイー科学分析センター																					
11	財団法人畜産生物科学安全研究所																					
12	株式会社DIMS医科学研究所																					
13	株式会社SRD生物センター																					
14	株式会社イナリサーチ																					
15	スギ生物科学研究所株式会社																					
16	株式会社ビー・エム・エル																					
17	株式会社化合物安全性研究所																					
18	株式会社鎌倉テクノサイエンス																					
19	財団法人食品農薬安全性評価センター										○	○	△			○						
20	財団法人食品薬品安全センター																					
21	株式会社新日本科学	○																				
22	株式会社新薬開発研究所																					
23	中央労働災害防止協会日本バイオアッセイ研究センター																					
24	日精バイリス株式会社																					
25	株式会社日本バイオリサーチセンター																					
26	株式会社日本生物科学センター																					
27	財団法人残留農薬研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
28	住友化学株式会社																					
29	社団法人日本油料検定協会																					
30	いであ株式会社																					
31	住化テクノサービス株式会社																					
32	財団法人日本食品分析センター																					
実施可能機関数		5	4	4	4	4	4	4	4	4	9	10	7	6	6	8	5	4	5	5	5	
将来の実施予定機関数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
将来の実施予定も含めた実施可能機関数		5	4	4	4	4	4	4	4	4	9	10	8	6	6	8	5	4	5	5	5	

2 試験機関能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

図表 2.3-2 国内試験機関の試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況 その2 (環境中運命)

試験分類		環境中運命に関する試験																													
試験名		光分解性試験			加水分解試験			パッチ法		HPLC法		修正MITI(D)法		DOC Die-Away 法		CO2発生法		クローズドボトル法		修正 OECDスクリーニング法		Manometric Respirometry 法		Headspace 法		魚による流水試験					
TG No.		316			111			106		121		301C		301A		301B		301D		301E		301F		310		305					
NO.	ラボ名	実施の可否	農薬 GLP	OEC D GLP	実施の可否	農薬 GLP	OEC D GLP	実施の可否	農薬 GLP	OEC D GLP	実施の可否	OEC D GLP	実施の可否	化審法 GLP	OEC D GLP	実施の可否	OEC D GLP	実施の可否	OEC D GLP	実施の可否	OEC D GLP	実施の可否	OEC D GLP	実施の可否	OEC D GLP	実施の可否	化審法 GLP	農薬 GLP	OEC D GLP		
1	一般財団法人化学物質評価研究機構	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	三菱化学メディアエンス株式会社							○		○	○	○	○						○	○							○	○	○		
3	富士フイルム株式会社				○								○	○													○	○	○		
4	広栄テクノ株式会社				○	○							○	○							○										
5	三菱瓦斯化学株式会社												○	○																	
6	株式会社クレハ分析センター												○	△	○												○	△	○		
7	株式会社日曹分析センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○								○	○	○		
8	保土谷コントラクトラボ株式会社																										○	○	○		
9	株式会社エコトキシロジー研究所												○	○	○												○	○	○		
10	株式会社ユービーイー科学分析センター																														
11	財団法人畜産生物科学安全研究所																														
12	株式会社DIMS医科学研究所																														
13	株式会社SRD生物センター																														
14	株式会社イナリサーチ																														
15	スギ生物科学研究所株式会社																														
16	株式会社ビー・エム・エル																														
17	株式会社化合物安全性研究所																														
18	株式会社鎌倉テクノサイエンス																														
19	財団法人食品農薬安全性評価センター												○	△													○	△			
20	財団法人食品薬品安全センター																														
21	株式会社新日本科学																														
22	株式会社新薬開発研究所																														
23	中央労働災害防止協会日本バイオアッセイ研究センター																														
24	日精バイリス株式会社																														
25	株式会社日本バイオリサーチセンター																														
26	株式会社日本生物科学センター																														
27	財団法人残留農薬研究所	○	○	○	○	○	○	○	○																		○	△	○		
28	住友化学株式会社																														
29	社団法人日本油料検定協会																														
30	いであ株式会社																														
31	住化テクノサービス株式会社																										○	△	○		
32	財団法人日本食品分析センター												○		○												○	○	○		
実施可能機関数		3	3	3	5	4	3	4	3	4	2	2	10	7	5	2	1	0	0	4	3	0	0	3	2	0	0	11	5	7	7
将来の実施予定機関数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
将来の実施予定も含めた実施可能機関数		3	3	3	5	4	3	4	3	4	2	2	10	9	5	2	1	0	0	4	3	0	0	3	2	0	0	11	9	7	7







2 試験機関能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

② 海外試験機関

海外試験機関の試験実施の可否を図表 2.3-6～図表 2.3-10 に示す。

図表 2.3-6 海外試験機関の試験実施の可否 その1 (物理化学的性状)

試験分類		物理化学的性状に関する試験						
性状		融点	沸点	蒸気圧	1-オクタノールと水との間の分配係数	水に対する溶解度	解離定数	
試験名		融点／溶解範囲	沸点	蒸気圧	フラスコ振とう法	HPLC法	水溶解度	水中における解離定数
TG No.		102	103	104	107	117	105	112
NO. ラボ名								
1	チャールズ・リバー	○	○	○	○	○	○	○
2	ハーランラボラトリーズ	○	○	○	○	○	○	○
3	ハンティンドン ライフサイエンス(株)	○	○	○	○	○	○	○
4	MPI Research Inc	○	○		○	○	○	
5	BioReliance							
6	Wildlife International, Ltd.	○	○	○	○	○	○	○
7	アストラゼネカ社ブリクサム環境研究所	○	○		○	○	○	
8	ケメックス環境研究所	○	○			○	○	
9	ビーエスエル社							
10	セルプ社							
11	株式会社バイオクステック							
12	WIL リサーチカンパニー							
13	Intertek	○	○	○	○	○	○	○
14	Product Safety Labs	○	○				○	○
実施可能機関数		9	9	5	7	8	9	6

図表 2.3-7 海外試験機関の試験実施の可否 その2 (環境中運命)

試験分類		環境中運命に関する試験											
性状		光分解性	加水分解性	大気、水域、底質又は土壌に係る分配係数	生分解性							生物濃縮性	
試験名		光分解性試験	加水分解試験	バッチ法	HPLC法	修正MITI(I)法	DOC Die-Away法	CO2発生法	クロードボストル法	修正OECDスクリーニング法	Manometric Respirometry法	Headspace法	魚による流水試験
TG		316	111	106	121	301C	301A	301B	301D	301E	301F	310	305
No.													
1	チャールズ・リバー	○	○	○	○		○	○	○	○			○
2	ハーランラボラトリーズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	ハンティンドン ライフサイエンス(株)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	MPI Research Inc												
5	BioReliance												
6	Wildlife International, Ltd.		○	○	○		○	○	○	○		○	○
7	アストラゼネカ社ブリクサム環境研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	ケメックス環境研究所						○	○	○	○	○	○	○
9	ビーエスエル社												
10	セルプ社												
11	株式会社バイオクステック												
12	WIL リサーチカンパニー												
13	Intertek		○										
14	Product Safety Labs												
実施可能機関数		4	6	5	5	3	6	6	6	6	4	5	6

2 試験機関能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

図表 2.3-8 海外試験機関の試験実施の可否その3 (生態影響)

試験分類		生態影響に関する試験								
性状	魚類 に対する急 性毒性	魚類 に対する慢 性毒性	水生の 無脊椎 動物に 対する 急性毒 性	水生の 無脊椎 動物に 対する 慢性毒 性	水生 の植 物に 対する 毒性	鳥類に及ぼす影響			底生 生物 に対 する毒 性	
試験名	魚類急 性毒性 試験	魚類初 期生活 段階毒 性試験	ミジンコ 急性遊 泳障害 試験	ミジンコ 繁殖試 験	藻類生 長阻害 試験	鳥類摂 餌毒性 試験	鳥類の 繁殖に 及ぼす 影響に 関する 試験	鳥類急 性経口 毒性試 験	底質添 加によ るユス リカ毒 性試験	
TG		203	210	202	211	201	205	206	223	218
No.										
1	チャールズ・リバー	○	○	○	○	○				○
2	ハーランラボラトリーズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	ハンティンドン ライフサイエンス(株)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	MPI Research Inc									
5	BioReliance									
6	Wildlife International, Ltd.	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	アストラゼネカ社ブリクサム環境研究所	○	○	○	○	○				○
8	ケメックス環境研究所	○	○	○	○	○				○
9	ビーエスエル社									
10	セルブ社									
11	株式会社バイオトクステック	○		○		○				
12	WIL リサーチカンパニー									
13	Intertek									
14	Product Safety Labs	○	○	○	○	○				
実施可能機関数		8	7	8	7	8	3	3	3	6

2 試験機能能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

図表 2.3-9 海外試験機関の試験実施の可否 その4 (人健康影響)

試験分類 性状	人健康影響に関する試験 <sup>1</sup>															
	生体内 毒物動態 (生体内 運命)試 験	薬理学 的 試験	反復投与による毒性					慢性毒性		がん原性	催奇形	生殖能及び後世代に及ぼす影響				
試験名			げっ歯類 における 28日間 反復経口 投与毒性 試験	げっ歯類 における 90日間 反復経口 投与毒性 試験	非げっ歯 類におけ る90日間 反復経口 投与毒性 試験	反復投与 吸入毒性 28日また は14日 試験	亜慢性吸 入毒性: 90日試 験	慢性毒性 試験 経 口	慢性毒性 試験 吸 入	がん原性 試験	慢性毒性 /がん原 性組合せ 試験	出生前発 生毒性試 験(催奇 形性試 験)	一世代生 殖毒性試 験	二世代生 殖毒性試 験	生殖/発 生毒性ス クリーニング 試験	反復投与 毒性試験 と生殖発 生毒性ス クリーニング 試験の 複合試験
TG No.	417	—	407	408	409	412	413	452	452	451	453	414	415	416	421	422
1 チャールズ・リバー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 ハーランラボラトリーズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 ハンティンドン ライフサイエンス(株)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 MPI Research Inc			○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○
5 BioReliance			○	○						○						
6 Wildlife International, Ltd.																
7 アストラゼネカ社ブリクサム環境研究所																
8 ケメックス環境研究所																
9 ビーエスエル社	○	○	○	○				○			○	○	○	○	○	○
10 セルブ社	○	○	○	○	○			○				○	○	○	○	○
11 株式会社バイオトクステック			○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○
12 WIL リサーチカンパニー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 Intertek																
14 Product Safety Labs	○	○	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○
実施可能機関数	7	7	10	10	7	4	4	9	4	8	8	9	9	9	9	9

2 試験機能能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

図表 2.3-10 海外試験機関の試験実施の可否 その5 (人健康影響)

試験分類 性状	人健康影響に関する試験2														
	変異原性							変異原性							
試験名	細菌復帰 突然変異 試験 (Ames試 験)	哺乳類のin vitro 染色 体異常試 験	哺乳類細 胞のin vitro 遺伝 子突然変 異試験(マ ウスリン フォーマTK 試験)	遺伝毒性: 哺乳動物 細胞を用い るin vitro 姉妹染色 分体交換 試験	遺伝毒性: 酵母を用い る遺伝子 突然変異 試験	遺伝毒性: 酵母を用い る体細胞 組み換え 試験	遺伝毒性: DNA 傷害 及び修復 ／哺乳動 物細胞を 用いるin vitro 不定 期DNA 合 成試験	哺乳類赤 血球小核 試験	哺乳類骨 髄染色体 異常試験	遺伝毒性: ショウジョ ウバエを用 いる伴性劣 性致死試験	遺伝毒性: げっ歯類を 用いる優性 致死試験	哺乳類の 精原細胞 を用いる染 色体異常 試験	遺伝毒性: マウス ポットテス ト	遺伝毒性: マウス転座 試験	哺乳類肝 細胞を用い るin vivo 不定期 DNA 合成 (UDS)試 験
TG No.	471	473	476	479	480	481	482	474	475	477	478	483	484	485	486
NO. ラボ名															
1   チャールズ・リパー	○	○	○					○							
2   ハーランラボラトリーズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3   ハンティンドン ライフサイエンス(株)	○	○	○					○	○						○
4   MPI Research Inc															
5   BioReliance	○	○	○	○				○	○		○	○			○
6   Wildlife International, Ltd.															
7   アストラゼネカ社ブリクサム環境研究所															
8   ケメックス環境研究所															
9   ビーエスエル社	○	○	○					○	○			○			○
10   セルプ社	○	○	○					○	○						○
11   株式会社バイオクステック	○	○	○					○							
12   WIL リサーチカンパニー	○	○						○							
13   Intertek															
14   Product Safety Labs	○	○						○	○						
実施可能機関数	9	9	7	2	1	1	5	9	4	1	2	3	1	1	5

2 試験機関能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

【海外試験機関の GLP 取得状況】

海外試験機関 14 機関のうち 13 機関から回答があった。各試験機関の GLP 基準適合確認状況を図表 2.3-11 に示す。

複数の国に試験所を有する機関があり、それぞれの国によって GLP 制度の適用範囲が異なるため、GLP 基準適合確認を受けている分野については自由記述での回答とした。

図表 2.3-11 海外試験機関の GLP 取得状況

試験機関名	国	都市	取得分野
チャールズ・リバー	英国	Scotland	-分析化学 -臨床病理学 -生物学的安全性試験 -生態系 -環境運命 -環境毒性 -変異原性 -物理化学試験 -毒性学 -ウイルス学
ハーランラボラトリーズ	スイス	Itingen	-毒性及び環境毒性試験
	ドイツ	—	-遺伝毒性及び in vitro 試験
	スペイン	Barcelona	-毒性試験（大動物）
	英国	Derbyshire	-毒性及び環境毒性試験
ハンティンドンライフサイエンス(株)	英国	Huntingdon, Cambridgeshire	-毒性試験 -薬理学 -DMPK -病理学 -化学：バイオアナリシス-質量分析、免疫測定、免疫学および細胞生物学、臨床病理学、調合吸入試験 (Formulation and Inhalation Analysis)、薬学 -in vitro 技術 -環境科学：環境代謝、陸生生態毒性
	英国	Eye, Suffolk	-毒性試験 -遺伝毒性学 -環境科学:野外実験、環境分析、生成物化学(Product Chemistry)、水生生態毒性学と生分解 -薬学
	米国	East Millstone, New Jersey	-毒性試験 -薬理学 -化学：薬学、調合吸入試験 (Formulation and Inhalation Analysis)、臨床病理学、バイオアナリシス (クロマトグラフィー、質量分析)、免疫測定、免疫学及び細胞生物学 -薬剤コンサルタント業
MPI Research Inc	米国	Mattawan	-毒性試験、手術、安全薬理学 -物理化学試験
BioReliance Corp.	米国	Rockville, Maryland	毒性学試験
Wildlife International, Ltd.	米国	Easton, MD	生態毒性試験
アストラゼネカ社ブリクサム環境研究所	英国	Brixham	毒性試験

## 2 試験機能能力調査アンケート調査

### 2.3 調査結果

#### 2.3.2 試験実施の可否と GLP 基準適合確認状況

試験機関名	国	都市	取得分野
ケメックス環境研究所	英国	—	生態毒性学、生分解性および物理/化学試験
ビーエスエル社	ドイツ	Munich	-毒性試験 -変異原性試験 -その他: a) 微生物学的安全試験 b) 培養細胞/バイオアッセイの効力試験 (ChemVwV-GLP No 5.3/OECD guidance に従った専門分野)
セルブ社	フランス	BAUGY	薬理学および毒性学試験
株式会社バイオトクステック	韓国	Chungcheongbook-do	-魚類急性毒性試験 -ミジンコ急性遊泳阻害試験 -藻類生長阻害試験 -げっ歯類における 28 日間反復経口投与毒性試験 -げっ歯類における 90 日間反復経口投与毒性試験 -非げっ歯類における 90 日間反復経口投与毒性試験 -慢性毒性試験 経口 -がん原性試験 -慢性毒性/がん原性組合せ試験 -出生前発生毒性試験(催奇形性試験) -一世代生殖毒性試験 -二世代生殖毒性試験 -生殖/発生毒性スクリーニング試験 -反復投与毒性試験と生殖発生毒性スクリーニング試験の複合試験 -細菌復帰突然変異試験 (Ames 試験) -哺乳類の in vitro 染色体異常試験 -哺乳類細胞の in vitro 遺伝子突然変異試験 (マウスリンフォーマ TK 試験) -哺乳類赤血球小核試験
WIL リサーチカンパニー	米国	Ashland, Ohio	一般毒性学、若年毒性学、発生および生殖毒性学、安全薬理学、代謝および神経毒性学
	米国	Skokie, Illinois	遺伝毒性学
	米国	Hillsborough, NC	病理学および組織学
	米国	Boothwyn, PA	プレフォーミュレーション、フォーミュレーション、臨床マニファクチャリング
Intertek	英国	Manchester	物理化学
Product Safety Labs	—	—	—

2 試験機関能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.3 試験所要期間

2.3.3. 試験所要期間

アンケートの回答をもとに、試験毎のおおよその試験所要期間について、得られた回答の最小値から最大値の範囲を取りまとめた。

① 国内試験機関

国内試験機関によるおおよその試験所要期間は、図表 2.3-12、図表 2.3-13 のとおりである。

図表 2.3-12 国内試験機関の試験所要期間  
その1 ((物化性状、環境中運命、生態影響に関する試験))

種別	項目	試験名	TG No.	所要期間 (月)
物理化学的性状	融点	融点／熔融範囲	102	1
	沸点	沸点	103	1
	蒸気圧	蒸気圧	104	1～4
	1-オクタノールと水との間の分配係数	フラスコ振とう法、HPLC法	107,117	0.3～2
	水に対する溶解度	水溶解度	105	0.5～2
	解離定数	水中における解離定数	112	0.5～2
環境中運命に関する試験	光分解性	光分解性試験	316	2～8
	加水分解性	加水分解試験	111	3～8
	大気、水域、底質又は土壌に係る分配係数	バッチ法、HPLC法	106,121	2～10
	生分解性	修正MITI (I) 法等	301C等	2～6
	生物濃縮性	魚による流水試験	305	2.4～8
生態影響に関する試験	魚類に対する急性毒性	魚類急性毒性試験	203	0.5～4
	魚類に対する慢性毒性	魚類初期生活段階毒性試験	210	6
	水生の無脊椎動物に対する急性毒性	ミジンコ急性遊泳阻害試験	202	2～4
	水生の無脊椎動物に対する慢性毒性	ミジンコ繁殖試験	211	4～6
	水生の植物に対する毒性	藻類生長阻害試験	201	2～4
	鳥類に及ぼす影響	鳥類摂餌毒性試験 鳥類の繁殖に及ぼす影響に関する試験 鳥類急性経口毒性試験	205	—
			206	—
			223	—
底生生物に対する毒性	底質添加によるユスリカ毒性試験	218	4～6	

2 試験機関能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.3 試験所要期間

図表 2.3-13 国内試験機関の試験所要期間 その2 (人健康影響に関する試験)

項目	試験名	TG No.	所要期間 (月)
生体内運命	毒物動態 (生体内運命) 試験	417	0.5~12
薬理学的特性	薬理学的試験	—	1~5
反復投与による 毒性	げっ歯類における28日間反復経口投与毒性試験	407	3~10
	げっ歯類における90日間反復経口投与毒性試験、	408	5~12
	非げっ歯類における90日間反復経口投与毒性試験	409	
	反復投与吸入毒性28日または14日試験	412	10
	亜慢性吸入毒性: 90日試験	413	12
慢性毒性	慢性毒性試験 (経口)	452	9~24
	慢性毒性試験 (吸入)	452	24
がん原性	がん原性試験	451	18~42
	慢性毒性/がん原性組合せ試験	453	
催奇形性	出生前発生毒性試験(催奇形性試験)	414	3~10
生殖能及び後世 代に及ぼす影響	一世代生殖毒性試験	415	5~12
	二世代生殖毒性試験	416	8~20
	生殖/発生毒性スクリーニング試験	421	3~10
	反復投与毒性試験と生殖発生毒性スクリーニング試験の複合試験	422	
変異原性 (in vitro)	細菌復帰突然変異試験 (Ames試験)	471	1~5
	哺乳類のin vitro 染色体異常試験	473	
	哺乳類細胞のin vitro 遺伝子突然変異試験 (マウスリンフォーマTK試験)	476	
	遺伝毒性: 哺乳動物細胞を用いるin vitro 姉妹染色分体交換試験	479	
	遺伝毒性: 酵母を用いる遺伝子突然変異試験	480	
	遺伝毒性: 酵母を用いる体細胞組み換え試験	481	
	遺伝毒性: DNA 傷害及び修復/哺乳動物細胞を用いるin vitro 不定期DNA 合成試験	482	
変異原性 (in vivo)	哺乳類赤血球小核試験	474	2~5
	哺乳類骨髄染色体異常試験	475	
	遺伝毒性: ショウジョウバエを用いる伴性劣性致死試験	477	
	遺伝毒性: げっ歯類を用いる優性致死試験	478	
	哺乳類の精原細胞を用いる染色体異常試験	483	
	遺伝毒性: マウススポットテスト	484	
	遺伝毒性: マウス転座試験	485	
	哺乳類肝細胞を用いるin vivo 不定期DNA 合成 (UDS) 試験	486	

2 試験機能能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.3 試験所要期間

② 海外試験機関

海外試験機関のおおよその試験所要期間は、図表 2.3-14、図表 2.3-15 のとおりである。

図表 2.3-14 海外試験機関の試験所要期間  
その1 (物化性状、環境中運命、生態影響に関する試験)

種別	項目	試験名	TG No.	所要期間 (月)
物理化学的性状	融点	融点／溶融範囲	102	0.7～3
	沸点	沸点	103	0.7～3
	蒸気圧	蒸気圧	104	0.7～3
	1-オクタノールと水との間の分配係数	フラスコ振とう法	107	0.9～3
		HPLC法	117	0.9～3
	水に対する溶解度	水溶解度	105	0.7～3
	解離定数	水中における解離定数	112	0.9～3
環境中運命に関する試験	光分解性	光分解性試験	316	5～6
	加水分解性	加水分解試験	111	1.5～4
	大気、水域、底質又は土壌に係る分配係数	バッチ法	106	2～6
		HPLC法	121	1～3
	生分解性	修正MITI (I) 法等	301C	3～5
		DOC Die-Away 法	301A	2～4
		CO <sub>2</sub> 発生法	301B	2～4
		クローズドボトル法	301D	2～4
		修正OECDスクリーニング法	301E	2～4
		Manometric Respirometry 法	301F	2～3
		Headspace法	310	2～3
生物濃縮性	魚による流水試験	305	3～6	
生態影響に関する試験	魚類に対する急性毒性	魚類急性毒性試験	203	1～4
	魚類に対する慢性毒性	魚類初期生活段階毒性試験	210	3～6
	水生の無脊椎動物に対する急性毒性	ミジンコ急性遊泳阻害試験	202	1～4
	水生の無脊椎動物に対する慢性毒性	ミジンコ繁殖試験	211	2～6
	水生の植物に対する毒性	藻類生長阻害試験	201	2～4
	鳥類に及ぼす影響	鳥類摂餌毒性試験	205	2～3
		鳥類の繁殖に及ぼす影響に関する試験	206	12～15
		鳥類急性経口毒性試験	223	2～3
底生生物に対する毒性	底質添加によるユスリカ毒性試験	218	3～6	

2 試験機能能力調査アンケート調査

2.3 調査結果

2.3.3 試験所要期間

図表 2.3-15 海外試験機関の試験所要期間 その2 (人健康影響に関する試験)

項目	試験名	TG No.	所要期間 (月)
生体内運命	毒物動態 (生体内運命) 試験	417	5~9
薬理学的特性	薬理学的試験	—	3~4
反復投与による毒性	げっ歯類における28日間反復経口投与毒性試験	407	2.5~4.5
	げっ歯類における90日間反復経口投与毒性試験、	408	3~8
	非げっ歯類における90日間反復経口投与毒性試験	409	3~8
	反復投与吸入毒性28日または14日試験	412	4~5
	亜慢性吸入毒性: 90日試験	413	6~7
慢性毒性	慢性毒性試験 (経口)	452	3.5~18
	慢性毒性試験 (吸入)	452	16~18
がん原性	がん原性試験	451	6~38
	慢性毒性/がん原性組合せ試験	453	6~38
催奇形性	出生前発生毒性試験(催奇形性試験)	414	3.5~7
生殖能及び後世代に及ぼす影響	一世代生殖毒性試験	415	4.5~12
	二世代生殖毒性試験	416	4.5~15
	生殖/発生毒性スクリーニング試験	421	3.5~7
	反復投与毒性試験と生殖発生毒性スクリーニング試験の複合試験	422	4.5~7
変異原性(in vitro)	細菌復帰突然変異試験 (Ames試験)	471	1~3
	哺乳類のin vitro 染色体異常試験	473	2~3.5
	哺乳類細胞のin vitro 遺伝子突然変異試験 (マウスリンフォーマTK試験)	476	2~4
	遺伝毒性: 哺乳動物細胞を用いるin vitro 姉妹染色分体交換試験	479	0.3
	遺伝毒性: 酵母を用いる遺伝子突然変異試験	480	2.3~4
	遺伝毒性: 酵母を用いる体細胞組み換え試験	481	—
	遺伝毒性: DNA 傷害及び修復/哺乳動物細胞を用いるin vitro 不定期DNA 合成試験	482	—
変異原性(in vivo)	哺乳類赤血球小核試験	474	2~3
	哺乳類骨髄染色体異常試験	475	2~3
	遺伝毒性: ショウジョウバエを用いる伴性劣性致死試験	477	—
	遺伝毒性: げっ歯類を用いる優性致死試験	478	4.3
	哺乳類の精原細胞を用いる染色体異常試験	483	2.8~4
	遺伝毒性: マウススポットテスト	484	—
	遺伝毒性: マウス転座試験	485	—
	哺乳類肝細胞を用いるin vivo 不定期 DNA 合成 (UDS) 試験	486	2.8~4

## 2 試験機関能力調査アンケート調査

### 2.3 調査結果

#### 2.3.4 GLP 基準以外の認証取得状況

#### 2.3.4.1 GLP 基準以外の認証取得状況

##### ① 国内試験機関

国内試験機関のうち、GLP 基準以外の各種認証を取得しているとは回答したのは 32 機関中 8 機関 (25.0%) であった。

**図表 2.3-16 GLP 基準以外の認証取得状況 (国内試験機関)**

取得認証		回答件数	全回答数に占める割合
GLP 基準以外の各種認証を取得している		8	25.0%
取得認証	JIS Q 9001 (2008) / ISO 9001 (2008)	5	15.6%
	JIS Q 17025 / ISO/IEC 17025 (2005)	1	3.1%
	OHSAS18001 (労働安全マネジメントシステム)	1	3.1%
	AAALAC (国際実験動物管理公認協会) 認証	1	3.1%

##### ② 海外試験機関

海外試験機関のうち、GLP 基準以外の各種認証を取得しているとは回答したのは 14 機関中 7 機関 (50.0%) であった。

**図表 2.3-17 GLP 基準以外の認証取得状況 (海外試験機関)**

取得認証		回答件数	全回答数に占める割合
GLP 基準以外の各種認証を取得している		7	50.0%
取得認証	ISO 17025	2	14.2%
	DIN/EN ISO 17025		
	GMP	3	21.4%
	GCP	2	14.2%
	GEP inspections (MPAAF, Italy)	3	21.4%
	US Department of Agriculture quarterly inspection,	1	7.1%
	US NIH Animal Welfare certification	1	7.1%
	US FDA	1	7.1%

#### 2.3.5.1 各種申請書類の作成等のサービス、IUCLID5 形式へのデータ入力

##### ① 国内試験機関

国内試験機関のうち、各種申請書類の作成等のサービスを実施しているのは 32 機関中 21 機関 (53.1%)、IUCLID5 形式へのデータ入力に対応しているのは 7 機関 (21.9%) であった。

## 2 試験機関能力調査アンケート調査

### 2.3 調査結果

#### 2.3.5 各種申請書類の作成等のサービス、IUCLID5形式へのデータ入力

**図表 2.3-18 各種申請書類の作成等のサービス、IUCLID5形式へのデータ入力対応状況（国内試験機関）**

回答	回答件数	全回答数に占める割合
各種申請書類の作成等のサービスを実施している	17	53.1%
IUCLID5形式へのデータ入力に対応している	7	21.9%

**図表 2.3-19 国内試験機関の各種申請書類の作成等のサービス内容**

- ・化審法申請支援（低生産量申請、フル申請、継続申請、ポリマーフロー申請）
- ・安衛法申請支援
- ・農薬抄録作成，農薬登録に関するコンサルティング業務
- ・報告書の和訳および英訳

### ② 海外試験機関

海外試験機関のうち、各種申請書類の作成等のサービスを実施しているのは7機関中5機関（71.4%）であり、これらは皆 IUCLID5形式へのデータ入力に対応している。

**図表 2.3-20 各種申請書類の作成等のサービス、IUCLID5形式へのデータ入力対応状況（海外試験機関）**

回答	回答件数	全回答数に占める割合
各種申請書類の作成等のサービスを実施している	8	57.1%
IUCLID5形式へのデータ入力に対応している	6	42.8%

**図表 2.3-21 海外試験機関の各種申請書類の作成等のサービス内容**

- ・試験報告書をサポートするデータの要約および OECD サマリー作成
- ・化学物質登録サービス
- ・US FDA 電子届出
- ・IUCLID5 フォーマット入力

## 付属資料

### 回答試験機関一覧

① 国内試験機関

② 海外試験機関

①国内試験機関

項目	内容
事業者名	一般財団法人化学物質評価研究機構
事業所名、部署名	化学物質安全部門
郵便番号	112-0004
所在地	東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル 7 階
電話番号	03-5804-6134
FAX 番号	03-5804-6140
メール	<a href="https://www.cerij.or.jp/busshitu/busshitu_order.html">https://www.cerij.or.jp/busshitu/busshitu_order.html</a>
URL	<a href="http://www.cerij.or.jp/ceri_jp/index.html">http://www.cerij.or.jp/ceri_jp/index.html</a>
GLP 基準以外の認証	JIS Q 9001 (2008) (ISO 9001 (2008)) JQA 他 (ホームページ参照： <a href="http://www.cerij.or.jp/ceri_jp/index.html">http://www.cerij.or.jp/ceri_jp/index.html</a> )
各種申請書類の作成等のサービス	化審法申請支援業務 (低生産量申請、フル申請、継続申請、ポリマーフロー申請) 安衛法申請支援業務 (ホームページ参照： <a href="http://www.cerij.or.jp/ceri_jp/index.html">http://www.cerij.or.jp/ceri_jp/index.html</a> )
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	<p>「人と化学と環境の調和」を念頭に、公正で中立な第三者機関として、環境保全、化学物質安全性、品質保証など国の内外を問わず、社会が抱える諸問題に対応できる体制を整えております。試験・研究・調査の実施においては、優れた技術陣が最新の設備と化学分析手法、生物試験手法を駆使し皆様方の各種研究・開発を支援するとともに、技術的な問題点を解決するためのお手伝いを致します。</p> <p>化学物質の安全性評価の業務では、国から多くの安全性関連の委託研究をはじめ、化審法の全ての試験について国内外最大実績を誇っています。また、化学物質のリスク評価も行っています。毒性評価では蓄積された高度な分析技術を生かし、被験物質の血中及び尿中濃度測定を GLP に準拠して行っています。生態影響試験実施の歴史は古く、その質、量ともに国内で最大のクラスに入ります。</p>

項目	内容
事業者名	三菱化学メディエンス株式会社
事業所名、部署名	創薬支援事業本部
郵便番号	108-8559
所在地	東京都港区芝浦 4-2-8
電話番号	03-6722-4200
FAX 番号	03-6722-4201
メール	—
URL	<a href="http://www.medience.co.jp/index.html">http://www.medience.co.jp/index.html</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○： <a href="http://www.medience.co.jp/">http://www.medience.co.jp/</a>
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	化審法申請に必要な全ての試験を一括して実施することができます。

項目	内容
事業者名	富士フイルム株式会社
事業所名、部署名	CSR 推進部 環境・品質マネジメント部 安全性評価センター
郵便番号	250-0193
所在地	神奈川県南足柄市中沼 210
電話番号	0465-71-5763
FAX 番号	0465-73-7975
メール	<a href="mailto:safety-center@fujifilm.co.jp">safety-center@fujifilm.co.jp</a>
URL	<a href="http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/preservation/chemical_smanagement/evaluation/index.html">http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/preservation/chemical_smanagement/evaluation/index.html</a>
GLP 基準以外の認証	ISO9001,ISO14001,OHSAS18001
各種申請書類の作成等のサービス	○：化審法届出資料作成及び提出も実施いたします。化審法届出後は、予備審査、本審査と審査がございますが、各審査段階での当局からの指摘対応も実施致します。
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	1986 年から 20 年以上にわたり化審法 GLP 基準の適合を継続して受け、数多くの試験を実施してきた経験と技術により、質の高い試験を実施いたします。

項目	内容
事業者名	広栄テクノ株式会社
事業所名、部署名	安全性試験グループ
郵便番号	536-0011
所在地	大阪市城東区放出西二丁目 12 番 13 号
電話番号	06-6961-0254
FAX 番号	06-6961-6507
メール	ホームページ「お問い合わせ」に入力下さい。
URL	<a href="http://www.koei-techno.co.jp/">http://www.koei-techno.co.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：試験結果届出様式の作成
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	特定の試験に特化することで小回りの効く対応をいたします。

項目	内容
事業者名	三菱瓦斯化学株式会社
事業所名、部署名	MGC 分析センター
郵便番号	950-3112
所在地	東京都葛飾区新宿 6-1-1
電話番号	—
FAX 番号	—
メール	—
URL	<a href="http://www.mgc.co.jp/index.html">http://www.mgc.co.jp/index.html</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：各種申請書類は、当社環境安全部の担当部署が行っている。
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	自社及び関連会社からの依頼文のみを対象として試験を行っている。他社からの依頼を受けるだけの人的、設備的な余裕はない。

項目	内容
事業者名	株式会社クレハ分析センター
事業所名、部署名	営業本部
郵便番号	974-8232
所在地	福島県いわき市錦町落合 16 番地
電話番号	0246-62-6166
FAX 番号	0246-62-6163
メール	—
URL	<a href="http://www.kureha-bunseki.co.jp/">http://www.kureha-bunseki.co.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	ISO9001
各種申請書類の作成等のサービス	○：一部
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	株式会社日曹分析センター
事業所名、部署名	小田原事業所
郵便番号	250-0216
所在地	神奈川県小田原市高田 345 番地
電話番号	0465-42-3115
FAX 番号	0465-42-3115
メール	<a href="mailto:info@ncas.co.jp">info@ncas.co.jp</a>
URL	<a href="http://www.ncas.co.jp/">http://www.ncas.co.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：申請様式の作成、官庁との協議。
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	化審法 GLP 試験（分解度、POW、濃縮度、水棲生物試験）、物理化学的試験は日曹分析センターにおまかせ下さい。

項目	内容
事業者名	保土谷コントラクトラボ株式会社
事業所名、部署名	試験部
郵便番号	305-0841
所在地	茨城県つくば市御幸が丘 45 番地
電話番号	029-858-6886
FAX 番号	029-858-6895
メール	—
URL	<a href="http://www.h-contractlabo.co.jp/">http://www.h-contractlabo.co.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○： <a href="http://www.h-contractlabo.co.jp/outline.html">http://www.h-contractlabo.co.jp/outline.html</a>
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	株式会社エコトキシコロジー研究所
事業所名、部署名	—
郵便番号	331-0811
所在地	さいたま市北区吉野町 2-28-1
電話番号	048-661-8685
FAX 番号	048-667-9441
メール	—
URL	—
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：新規化学物質の届出を電子化システムを用いて申請する業務代行（届出書および申出書等の作成含）。
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	試験に関する説明と申請までの流れを適切に行います。また、試験開始のための分析方法の開発は、迅速に実施しております。

項目	内容
事業者名	株式会社ユービーイー科学分析センター
事業所名、部署名	東京営業部
郵便番号	105-6791
所在地	東京都港区芝浦 1 丁目 2 番 1 号 シンバンス N 館 20F
電話番号	03-5419-6333
FAX 番号	03-5419-6334
メール	—
URL	<a href="http://www.ube-ind.co.jp/usal/index.htm">http://www.ube-ind.co.jp/usal/index.htm</a>
GLP 基準以外の認証	ISO9001
各種申請書類の作成等のサービス	○：受託試験の結果報告書作成
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	迅速丁寧な対応を致します。

項目	内容
事業者名	財団法人 畜産生物科学安全研究所
事業所名、部署名	企画調整室
郵便番号	252-0132
所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台 3-7-11
電話番号	042-762-2775
FAX 番号	042-762-7979
メール	kikaku@riasbt.or.jp
URL	http://www.riasbt.or.jp/
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	株式会社 DIMS 医科学研究所
事業所名、部署名	—
郵便番号	491-0113
所在地	愛知県一宮市浅井町西浅井郷裏 64
電話番号	0586-51-1201
FAX 番号	0586-51-5634
メール	query@dims.co.jp
URL	http://www.dims.co.jp
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	がん原性リスク評価のための中期発がん性試験を実施しております。長期発がん性試験との結果の相関性が高く、実験期間短縮、動物数削減、コスト削減のメリットがあります。 弊社が開発した気管内投与ゾンデを用いて、ナノ物質の肺発がんプロモーション作用の検索する試験が可能です。

項目	内容
事業者名	株式会社 SRD 生物センター
事業所名、部署名	渋川ラボラトリー
郵便番号	377-0005
所在地	群馬県渋川市有馬 1967-11
電話番号	0279-55-6851
FAX 番号	0279-55-6854
メール	md@srdlab.co.jp
URL	http://www.srdlab.co.jp//
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	合理的金額でスピーディに試験を行います。

項目	内容
事業者名	株式会社イナリサーチ
事業所名、部署名	—
郵便番号	399-4501
所在地	長野県伊那市西箕輪 2148 番地 188
電話番号	0265-72-6616
FAX 番号	0265-72-6657
メール	—
URL	<a href="http://www.ina-research.co.jp/">http://www.ina-research.co.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	スギ生物科学研究所株式会社
事業所名、部署名	本社 営業本部 営業推進部
郵便番号	103-0004
所在地	東京都中央区東日本橋 3-7-14 サクセス東日本橋ビル 6F
電話番号	03-4332-3451
FAX 番号	03-4332-3467
メール	<a href="mailto:sa.sibs.sales.contact@sugi-medical.co.jp">sa.sibs.sales.contact@sugi-medical.co.jp</a>
URL	<a href="http://www.drug-sugi.co.jp/med/biochemistry/">http://www.drug-sugi.co.jp/med/biochemistry/</a>
GLP 基準以外の認証	AAALAC 完全認証（スギ生物科学研究所および提携先の韓国バイオトクステック）
各種申請書類の作成等のサービス	○：実施試験の安衛法および化審法届出様式作成のサービス
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	弊社の研究所は山梨県北杜市にあり、GLP 基準適合施設として 20 年以上にわたり非臨床試験を受託しております。また、お客様のご希望により、資本業務提携先である韓国の株式会社バイオトクステックにて各種 OECD GLP 試験を高品質、低価格でスピーディーに実施しております。日本語で対応可能です。

項目	内容
事業者名	株式会社ビー・エム・エル
事業所名、部署名	安全性試験部 安全性試験課
郵便番号	350-1101
所在地	埼玉県川越市の場 1361-1
電話番号	049-232-3434
FAX 番号	049-232-8445
メール	anzen@bml.co.jp
URL	<a href="http://www.bml.co.jp/business/ms.html">http://www.bml.co.jp/business/ms.html</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：自施設で実施した Ames 試験、染色体異常試験の労働安全衛生法および化審法用申請資料の作成
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	Ames 試験、染色体異常試験ともに、非 GLP 試験についても実施しています。 試験条件、費用等、ご相談に応じてご対応いたします。

項目	内容
事業者名	株式会社化合物安全性研究所
事業所名、部署名	—
郵便番号	004-0839
所在地	札幌市清田区真栄 363 番 24
電話番号	011-885-5031
FAX 番号	011-885-5313
メール	info@ka-anken.co.jp
URL	<a href="http://www.ka-anken.co.jp/">http://www.ka-anken.co.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	改正化審法による有害性調査の実施、手法の相談などお困りの方は、お気軽にお問い合わせください。 その他、安全性評価全般に渡るご相談も、創立 40 年の豊富な実績により、適切に対応させていただきます。

項目	内容
事業者名	株式会社 鎌倉テクノサイエンス
事業所名、部署名	生物試験業務部
郵便番号	248-0036
所在地	神奈川県鎌倉市手広六丁目 10 番 1 号
電話番号	0467-32-9775
FAX 番号	0467-32-9957
メール	
URL	<a href="http://www.kamakura-ts.co.jp">http://www.kamakura-ts.co.jp</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	医薬、医療機器の開発経験者が中心となり、医薬、医療機器の探索段階から開発まで、委託者のニーズに沿ったカスタムメイドの受託を得意とします。

項目	内容
事業者名	財団法人食品農医薬品安全性評価センター
事業所名、部署名	—
郵便番号	437-1213
所在地	静岡県磐田市塩新田 582-2
電話番号	0538-58-1266
FAX 番号	0538-58-2961
メール	<a href="mailto:market@anpyo.or.jp">market@anpyo.or.jp</a>
URL	<a href="http://www.anpyo.or.jp/">http://www.anpyo.or.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○： 試験計画・試験設計、試験結果の評価、解釈等のコンサルテーション 申請資料作成（農薬抄録等） Dosseir および Tier 作成 統計処理 翻訳
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	多岐に渡る遺伝毒性試験から豊富な実績を誇るがん原性試験、充実した毒性病理部門における評価系の擁立、さらにはメカニズム解析に至るまで、確かな信頼と技術をベースに皆様の研究開発のパートナーを目指します。 ・がん原性試験：豊富な実績で研究開発をサポート（約 120 試験にのぼる国内随一の実績） ・遺伝毒性試験：充実した設備と技術力を提供（各種スクリーニング試験からトランスジェニック動物の突然変異試験まで実施可能） ・生体影響に関する試験：多くの実績・経験有り ・LLNA 試験：国内随一の受託数 ・3次元皮膚モデルを用いた皮膚刺激性試験代替法を GLP 下で開始 ・経験豊富な技術顧問・技術アドバイザー陣による試験評価の強力なサポート ・再生医療用素材の安全性試験を開始

項目	内容
事業者名	財団法人食品薬品安全センター
事業所名、部署名	秦野研究所
郵便番号	257-8523
所在地	神奈川県秦野市落合 729 番地の 5
電話番号	0463-80-3303
FAX 番号	0463-82-9627
メール	i-kikaku@fdsc.or.jp
URL	http://www.fdsc.or.jp
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	皮膚感作性試験の代替法の一つある「THP-1 細胞を用いる in vitro 皮膚感作性試験 (h-CLAT)」を 2011 年度から受託開始します

項目	内容
事業者名	株式会社新日本科学
事業所名、部署名	安全性研究所
郵便番号	891-1394
所在地	鹿児島県鹿児島市宮之浦町 2438 番地
電話番号	099-294-2600
FAX 番号	099-294-3619
メール	info@snbl.co.jp
URL	http://www.snbl.co.jp/
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：臨床試験開始のための治験概要作成を主として実施
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	豊富な試験実績 薬効試験を含む幅広い試験への対応が可能

項目	内容
事業者名	株式会社新薬開発研究所
事業所名、部署名	株式会社新薬開発研究所 中央研究所
郵便番号	〒061-1405
所在地	北海道恵庭市戸磯 452-1
電話番号	0123-34-0111
FAX 番号	0123-34-1950
メール	infonddrc@nddrc.co.jp
URL	www.nddrc.co.jp
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	<p><b>【安全性試験】</b> 医薬品 GLP 準拠の一般毒性試験、生殖発生毒性試験、皮膚感作性試験、光感作性試験、抗原性試験などを受託しています。</p> <p><b>【薬効薬理試験】</b> 循環器系やアレルギー、抗疲労作用などの薬効に対応した各種薬効薬理試験、ジェネリック医薬品における薬力学的同等性試験を受託しています。作成した病体動物や自然発症病体動物の他に、コンジュニック動物を入手して試験を実施する事も可能です。</p> <p><b>【医薬品臨床試験】</b> ジェネリック医薬品の開発における、健康成人による生物学的同等性試験を治験から薬物動態測定、総括報告書の作成までをトータルで支援します。 経口剤だけではなく、外用剤の生物学的同等性試験も実施しており、外用剤については皮膚薬物動態試験や蒼白化試験も実施可能です。 生物学的同等性の他、対象患者の臨床試験も承ります。</p>

項目	内容
事業者名	中央労働災害防止協会日本バイオアッセイ研究センター
事業所名、部署名	企画調整部 企画課
郵便番号	257-0015
所在地	神奈川県秦野市平沢 2445
電話番号	0463-82-3911
FAX 番号	0463-82-3860
メール	baio@jisha.or.jp
URL	<a href="http://www.jisha.or.jp/jbrc/index.html">http://www.jisha.or.jp/jbrc/index.html</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○: 化審法および安衛法の新規化学物質の届出に必要な毒性試験の報告書の作成サービスを実施している。
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	日本バイオアッセイ研究センターは、有機溶剤、ミスト、粉塵（粉体）等の吸入による長期試験（発がん性、慢性）および短期試験（90 日、28 日、14 日、単回）の実績が豊富である。また、動物試験における吸入ばく露技術を生かして、ガス状および揮発性化学物質の <i>in vitro</i> の遺伝毒性試験法（Ames 試験：テドラーバッグ法や改良プレインキュベーション法）、染色体異常試験（回転培養によるガスばく露法および密栓回転法）を確立し、多くの実績をあげている。ナノマテリアルの有害性評価の技術開発（培養細胞によるスクリーニング法、気管内注入法、胸腔内注入法、吸入ばく露法）を推進してきたが、今後その技術を活かし各種ナノマテリアルの安全性試験対応の強化をしたい。

項目	内容
事業者名	日精バイリス株式会社
事業所名、部署名	滋賀研究所
郵便番号	528-0052
所在地	滋賀県甲賀市水口町宇川 555
電話番号	0748-63-5250
FAX 番号	0748-63-0735
メール	info@bilis.co.jp
URL	<a href="http://www.bilis.co.jp/">http://www.bilis.co.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	安全性試験から薬理試験まで確かな情報より早くをモットーに試験を実施させていただきます。 MSDS 用の試験から各種 GLP 対応の申請用試験まで幅広くお客様のご要望にお答えできる試験をご提案させていただきます。 お気軽にご相談ください。

項目	内容
事業者名	株式会社日本バイオリサーチセンター
事業所名、部署名	業務企画部
郵便番号	501-6251
所在地	岐阜県羽島市福寿町間島六丁目 104 番地
電話番号	058-392-2431
FAX 番号	—
メール	—
URL	<a href="http://www.nbr.co.jp">http://www.nbr.co.jp</a>
GLP 基準以外の認証	○
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	薬効試験を得意としており、300 近い病態モデルを有する。その中でも最大の特徴はミニプタが使用でき、ミニプタ専用 GLP 施設にて薬効・安全性試験の実施が可能である。

項目	内容
事業者名	株式会社日本生物科学センター
事業所名、部署名	岐阜研究所
郵便番号	503-0628
所在地	岐阜県海津市海津町福江 52
電話番号	0584-53-5631
FAX 番号	0584-54-5101
メール	—
URL	<a href="http://www.jbs.to/index.html">http://www.jbs.to/index.html</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	財団法人残留農薬研究所
事業所名、部署名	試験事業部 業務課
郵便番号	303-0043
所在地	茨城県常総市内守谷町 4321 番地
電話番号	0297-27-4501
FAX 番号	0297-27-1225
メール	info@iet.or.jp
URL	http://www.iet.or.jp/
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：報告書の和訳および英訳、農薬抄録作成、農薬登録に関するコンサルティング業務
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	弊所は、農薬のグローバルな安全性評価試験を総合的に受託できる日本で唯一の機関でございます。即ち、農薬の物化性試験（含生物濃縮性試験）、動物を用いる毒性試験と動物体内運命試験、次いで植物体内運命試験（国内単独）を軸にして環境中運命試験（土壌中・加水分解・水中光分解）、さらに残留分析試験（作物残留・土壌残留・水質汚濁試験）に対応しています。また、環境中の水産動植物への影響試験についても実施しております。農薬登録申請時期に合わせて、海外のコントラクトラボ（外部委託：7～8 社）を用いて、弊所担当者が試験モニターの位置づけで対応させて頂いております。即ち、農薬登録申請に必要な、翻訳、抄録作成及び各省庁のコメントに全て対応し、農薬登録を可能限り短期間で取得できる事を目標としております。

項目	内容
事業者名	社団法人 日本油料検定協会
事業所名、部署名	総合分析センター 変異原部門
郵便番号	658-0044
所在地	兵庫県神戸市東灘区御影塚町 1 丁目 2 番 1 5 号
電話番号	078-841-4931
FAX 番号	078-822-0530
メール	henigen0512@nykk.or.jp
URL	http://www.nykk.or.jp/
GLP 基準以外の認証	現在、ISO9001 の認証の修得準備中
各種申請書類の作成等のサービス	○：化審法・安衛法の結果届出様式報告書の作成
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	変異原性試験(Ames 試験)について、昭和 58 年より実施している実績があります。また、外部精度管理試験に参加し、技術レベルの維持と向上を積極的に進めています。

項目	内容
事業者名	いであ株式会社
事業所名、部署名	環境生物・化学事業本部 環境創造研究所
郵便番号	154-8585 421-0212
所在地	東京都世田谷区駒沢 3-15-1 静岡県焼津市利右衛門 1334-5
電話番号	054-622-9551
FAX 番号	054-622-9550
メール	idea-quay@ideacon.jp
URL	http://ideacon.jp/
GLP 基準以外の認証	1. ISO/IEC 17025(JIS Q 17025)認定 <sup>※1</sup> 2. 品質マネジメントシステム登録ISO9001:2008(JIS Q 9001:2008) <sup>※2</sup>
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	あらゆる環境試料の分析経験から培った技術と、HPLC、GC、GC-MS、LC-MS、ICP-MS などの最新の分析機器により、さまざまな化学物質に対応いたします。

※1 ①ASNITE/JCLA 1004【試験所名称】 環境創造研究所

【認定区分】 分野/対象/試験技術/試験項目名称

- ・環境/大気、水質、土壌、固形廃棄物、残留物、その他/ガスクロマトグラフ質量分析/ダイオキシン類 (環境大気、排ガス、大気降下物、作業環境、環境水、工業用水、工場排水、土壌、底質、水底土砂 (抽出液)、ばいじん、焼却灰、燃え殻)
- ・食品/汚染物質/ガスクロマトグラフ質量分析/ダイオキシン類 (水生生物、野生生物、血液、母乳)
- ・飲料水/規格試験/ガスクロマトグラフ質量分析/ダイオキシン類 (食品、水道原水、浄水)

②ASNITE/JCLA 1047

【試験所名称】 環境生物・化学事業本部

【認定区分】 分野/対象/試験技術/試験項目名称

- ・ゴム及びプラスチック/添加物/ICP-AES/Cd,Pb,Cr (有機化学製品、フッ素系樹脂を除く)
- ・ゴム及びプラスチック/添加物/原子吸光分析/Hg (有機化学製品、フッ素系樹脂を除く)
- ・飲料水 (上水) /規格試験/ICP-AES/Cd,Pb,Cr,B,Zn,Al,Fe,Cu,Na,Mn 及び Ca,Mg 等(硬度) (原水、浄水、給水栓水)

※2 JUSE-RA-1366

【対象範囲】 社会基盤整備、環境保全および自然再生にかかわる企画、調査、分析、予測評価、計画・設計、維持・管理

【対象部署】 管理本部(総務部)、企画本部、技術営業本部(技術営業第 1、2、3、5 部)、環境測定事業部、建設技術事業本部(河川部、水工部、海岸部、道路部、橋梁部)、国土環境研究所(環境調査 G、自然環境保全 G、生態解析 G、環境技術 G、水環境解析 G)、海外事業部、および大阪支社(営業部、水圏 G、陸園 G、環境調査・技術 G、生態・保全 G、環境化学 G)、名古屋支店(営業部、水圏 G、陸園 G、環境調査 G、環境化学 G、生態解析 G、環境技術 G)、札幌支店(営業部、陸園 G)および東北支店・広島支店・九州支店の営業部、水圏 G、陸園 G

項目	内容
事業者名	住化テクノサービス株式会社
事業所名、部署名	本社 技術室
郵便番号	665-0051
所在地	兵庫県宝塚市高司 4-2-1
電話番号	0797-74-2084
FAX 番号	0797-74-2083
メール	—
URL	<a href="http://www.sc-sts.co.jp">http://www.sc-sts.co.jp</a>
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	一般的な試験のみならず、高次試験（ニジマス初期生活段階毒性試験やミジンコ繁殖試験の実績あり）や特殊試験を精度高く実施することが可能です。 また、作物残留分析で培った微量分析技術を用い、各種有機化合物を精度高く測定します。

項目	内容
事業者名	財団法人 日本食品分析センター
事業所名、部署名	多摩研究所 薬事試験部 試験企画課
郵便番号	206-0025
所在地	東京都多摩市永山 6 丁目 11 番 10 号
電話番号	042-372-6711（代表）
FAX 番号	042-372-6700（代表）
メール	下記 URL の「メールによるお問い合わせ」頁をご利用ください
URL	<a href="http://www.jfri.or.jp/">http://www.jfri.or.jp/</a>
GLP 基準以外の認証	ISO9001（全体） ISO17025（一部） 食品衛生法及び薬事法の登録検査機関
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	当財団は、化学分析、生化学試験、in vitro 及び in vivo 試験をトータルに受託が可能な総合受託機関です。およそ 1000 名の専門技術を有する職員がお客様のニーズを的確に捉え、中立・公正、正確・迅速、技術向上・品質確保を 3 つの柱として、分析試験を通じて「健康と安全」をサポートし、社会の進歩・発展に貢献いたします。

②海外試験機関

項目	内容
事業者名	Charles River
事業所名、部署名	Charles River Preclinical Services Edinburgh
郵便番号	EH33 2NE
所在地	Tranent, Scotland, UK
電話番号	00 44 (0) 1875 614545
FAX 番号	00 44 (0) 1875 614555
メール	info@eur.crl.com
URL	www.criver.com
国内代理店	日本チャールズ・リバー株式会社
代理店部署名	-
代理店郵便番号	222-0033
代理店所在地	横浜市港北区新横浜 3-17-6 イノテックビル 11 階
代理店電話番号	045-474-4741
代理店 FAX 番号	045-474-4742
代理店 URL	http://www.crj.co.jp/index.cgi
GLP	英国
GLP 基準以外の認証	GCP GMP GEP (MPAAF, Italy)
各種申請書類の作成等のサービス	○：要望があれば試験報告書をサポートするデータの要約および OECD サマリーを作成可。
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	<p>チャールズ・リバーは 40 年以上も受託研究サービスを提供する先頭に立ってきました。私達の売上高の 85%は既存クライアントからのもので、リピート率は、匹敵するものではありません。これまでの満足度フィードバック調査では、お客様が他の人に当社のサービスを勧めたいと考えていることが明らかとなっています。</p> <p>チャールズ・リバーは経験豊かで資格のある人々を採用し、低離職率が低いことを誇りにしています。専門知識を高めチームワークを促進するため絶え間ない研修が提供されます。長年にわたり、私達は、何千もの新しい製品を調査しました。それが私たちに確かな基盤に基づいた判断で新製品を見直すための知識を与えてくれます。</p> <p>最新の技術がクライアントとの意思疎通に用いられています。進捗状況のアップデートは、電子メール、テレビ会議、ビデオ会議または面談会議で行うことができます。そして、それらの全ては合意された頻度で定期的に行うことができます。</p>

項目	内容
事業者名	Harlan Laboratories Japan Co., Ltd
事業所名、部署名	－
郵便番号	141-0021
所在地	#905 AIOS Meguro-Ekimae Bldg, 2-15-19 Kamiosaki, Shinagawa, Tokyo, 141-0021
電話番号	+81-357913771
FAX 番号	+81-357913772
メール	crs.jp@harlan.com
URL	www.harlan.com
国内代理店	ハーランラボラトリーズ株式会社
代理店部署名	－
代理店郵便番号	141-0021
代理店所在地	東京都品川区上大崎 2-15-19 AIOS 目黒駅前 905
代理店電話番号	03-5791-3771
代理店 FAX 番号	03-5791-3772
代理店 URL	www.harlan.com
GLP	スイス ドイツ スペイン 英国
GLP 基準以外の認証	－
各種申請書類の作成等のサービス	○
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	詳細な情報は当社のウェブサイトを参照してください： <a href="http://www.harlan.com/about_harlan_laboratories/who_we_are">http://www.harlan.com/about_harlan_laboratories/who_we_are</a>

項目	内容
事業者名	Huntingdon Life Sciences Ltd
事業所名、部署名	Huntingdon Research Centre, Woolley Road, Alconbury, Huntingdon, Cambridgeshire
郵便番号	PE28 4HS
所在地	UK
電話番号	+44 (0) 1480 892000
FAX 番号	+44 (0) 1480 890693
メール	SALES@UKORG.HUNTINGDON.COM
URL	WWW.HUNTINGDON.COM
国内代理店	ハンティンドン ライフサイエンス (株)
代理店部署名	—
代理店郵便番号	102-0076
代理店所在地	東京都千代田区五番町 12 番地 1(番町会館 2F)
代理店電話番号	03-3238-6382(直)
代理店 FAX 番号	03-3238-6388
代理店 URL	<a href="http://www.huntingdon.jp/">http://www.huntingdon.jp/</a>
GLP	英国 米国
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	<p>○：化学物質登録サービス</p> <p>化学物質登録会社である、LSR Associates Ltd.を通して、当社は世界中に十分な登録支援サービスを提供します。日本オフィスに規制上の支援チームがあります。サービスは以下のものがあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法規制の遵守戦略の開発</li> <li>・ グローバルな新規物質の通知 - 完全なデータ評価、試験計画の提案、一式文書作成と提出を含みます。</li> <li>・ REACH 登録一式文書作成</li> <li>・ 化学品安全報告書 (CSR) 作成</li> <li>・ IUCLID 5 の個別の試験報告サマリーの作成</li> <li>・ 代理サービス</li> <li>・ コンソーシアム代表</li> <li>・ 定期的なコンサルティングとアドバイス</li> </ul> <p>サービスの概要については、LSR Associates のウェブサイト参照してください。： <a href="http://www.lsr-associates.com/pages/chemical.html">http://www.lsr-associates.com/pages/chemical.html</a> 東京の規制チームの詳細は以下にご連絡下さい。 Huntingdon Life Sciences Ltd. e-mail : <a href="mailto:chem@tokyo.huntingdon.com">chem@tokyo.huntingdon.com</a> TEL : 03-3238-6381、FAX : 03-3238-6388</p>
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	<p>ハンティンドン ライフサイエンス (HLS) は、化学品および農薬の日本での登録を支援するサービスの最大手の CRO プロバイダーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>—東京オフィスに 14 人のフルタイムのスタッフ</li> <li>—元日本の産業である日本に拠点を置く 11 人の提携専門家</li> <li>—HLS は良好なカスタマーサービスを提供することを約束します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>—継続的なコミュニケーションと状況報告</li> <li>—試験報告と関係書類のオンタイムでの作成</li> </ul> </li> <li>—HLS は化学品および農薬の開発と登録において専門家によるコンサルタントを提供することができます。</li> <li>—HLS は科学的で技術的な専門知識を確立しています。</li> <li>—HLS の規制関連業務グループは CRO の間で独特の経験があります。</li> <li>—HLS には優れた科学者がいます。</li> <li>—HLS の科学者は問題解決に定評があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>—HLS は 50 年以上の経験があります。</li> <li>—品質に対する責任…そして、サービス</li> </ul> </li> </ul>

項目	内容
事業者名	MPI Research, Inc.
事業所名、部署名	－
郵便番号	49071
所在地	54943 North Main Street, Mattawan, MI 49071, USA
電話番号	+1.269.668.3336
FAX 番号	+1.269.668.4151
メール	－
URL	<a href="http://www.mpiresearch.com">www.mpiresearch.com</a>
国内代理店	エルエスジー株式会社
代理店部署名	－
代理店郵便番号	162-0814
代理店所在地	東京都新宿区新小川町 6-36 S&S ビル
代理店電話番号	03-3513-6533
代理店 FAX 番号	03-3513-6535
代理店 URL	<a href="http://www.lsg.co.jp/index.html">http://www.lsg.co.jp/index.html</a>
GLP	米国
GLP 基準以外の認証	－
各種申請書類の作成等のサービス	○ : FDA 電子届出
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	－
アピールポイント	－

項目	内容
事業者名	BioReliance Corporation
事業所名、部署名	14920 Broschart Road
郵便番号	20850
所在地	Rockville, Maryland US
電話番号	+1-301-738-1000
FAX 番号	+1-301-738-2362
メール	tox@bioreliance.com
URL	www.bioreliance.com
国内代理店	エルエスジー株式会社
代理店部署名	—
代理店郵便番号	162-0814
代理店所在地	東京都新宿区新小川町 6-36 S&S ビル
代理店電話番号	03-3513-6533
代理店 FAX 番号	03-3513-6535
代理店 URL	http://www.lsg.co.jp/index.html
GLP	米国
GLP 基準以外の認証	AAALAC US Department of Agriculture quarterly inspection, US NIH Animal Welfare certified.
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	BioReliance は、65 年近く化学、農業化学、製薬関連産業に対して毒性学および製品安全試験支援を提供してきました。私達は、ほとんど全期間にわたって、新しい技術と分析法の開発、検証、使用に関わってきました。遺伝毒性学の分野では、私達は SHE 形質転換試験の ECVAM の検証、in vitro および in vivo コメットアッセイの JaCVAM (日本) の検証と Bhas 形質転換試験の検証での NEDO (MITI 日本) への参加を要請された唯一の米国の研究機関です。私達は、世界の他のどのラボよりも多くトランスジェニックマウス発がん性試験を実施します。BioReliance は、スプレッドシートのリストに掲載されていない多くの試験を提供します。これらその他の試験は、添付書類として提供される BioReliance Toxicology Service List に掲載されています。

項目	内容
事業者名	Wildlife International, Ltd.
事業所名、部署名	—
郵便番号	21601
所在地	8598 Commerce Drive Easton, MD, USA
電話番号	1-410-822-8600
FAX 番号	1-410-822-0632
メール	info@wildlifeinternational.com
URL	www.wildlifeinternational.com
国内代理店	エルエスジー株式会社
代理店部署名	—
代理店郵便番号	162-0814
代理店所在地	東京都新宿区新小川町 6-36 S&S ビル
代理店電話番号	03-3513-6533
代理店 FAX 番号	03-3513-6535
代理店 URL	http://www.lsg.co.jp/index.html
GLP	米国
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	Wildlife International は、生態毒性学、Product Chemistry、環境運命の完全な試験パッケージを提供します。 水生および環境運命部では、14C で標識された物質を用いて定期的に検査します。私達は、世界最大で有数の鳥類毒性学の研究所です。私達は化学品の鳥類、魚類および両生類の内分泌系への影響を試験する優秀な研究所であり、米国および EU 規制当局の試験検証の主要な提供者です。

項目	内容
事業者名	AstraZeneca UK Limited
事業所名、部署名	Brixham Environmental Laboratory
郵便番号	TQ5 8BA
所在地	Freshwater Quarry Brixham, United Kingdom
電話番号	44 1803 884400
FAX 番号	44 1803 882974
メール	customerservice@repre.net
URL	www.brixham-lab.com
国内代理店	株式会社リプレ
代理店部署名	—
代理店郵便番号	103-0025
代理店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3
代理店電話番号	03-5643-2755
代理店 FAX 番号	03-5643-2756
代理店 URL	http://www.repre.net/
GLP	英国
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	○：全てのサービスについては www.brixham-lab.com にあります。
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	<p><b>Brixham Environmental Laboratory (BEL)</b> はイングランドのデボンにあり、専門的サービスを化学工業に提供しています。BEL は、化学品安全報告書の作成とともに、REACH 規則の下で物質の登録に必要な全ての環境試験を実施することができます。</p> <p>工業と緊密に関連し、強固な研究部門に支援されて、<b>Brixham Environmental Laboratory</b> は、技術的優秀さと競争価格の設定に関してだけでなく、新試験方法の将来の要件を予想することによって、優れたサービスを、クライアントに提供できることを誇りにしています。</p> <p>REACH 規則は、化学品の難分解性、生物蓄積性および毒性 (PBT) の評価をより重視しています。BEL には、生体蓄積の評価の支援に推奨される <i>in vitro</i> の方法の多くを行うための専門知識とリソースがあります。</p> <p>分子バイオマーカー評価などの代替方法を用いるこの『インテリジェント試験』の方法は、お客様が将来の規則要件に先行するのを援助する手段として提供できるサービスです。</p> <p>私達は、必要な届出一式書類の支援で、新規および既存物質の環境影響、生態毒性および環境運命の評価に対する革新的なアプローチと統合実験室ベースの試験を提供します。これらのサービスに加えて私達のコンサルティング能力、共同研究プログラム、モデル化および情報サービスは、世界的に高く評価されています。</p>

項目	内容
事業者名	Chemex Environmental International Ltd
事業所名、部署名	Unit J, Broad Lane, Cottenham, Cambridgeshire
郵便番号	CB24 8SW
所在地	UK
電話番号	+44 1954 252519
FAX 番号	+44 1954 251764
メール	customerservice@repre.net
URL	www.chemex.co.uk
国内代理店	株式会社リブレ
代理店部署名	—
代理店郵便番号	103-0025
代理店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3
代理店電話番号	03-5643-2755
代理店 FAX 番号	03-5643-2756
代理店 URL	http://www.repre.net/
GLP	英国
GLP 基準以外の認証	ISO 17025
各種申請書類の作成等のサービス	○
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	HOCNF 登録のための海洋生物の試験を含む生物分解性及び生態毒性試験での少なからぬ経験と柔軟性。当社は、1987 年からこれらの試験を行っています。

項目	内容
事業者名	BSL BIOSERVICE Scientific Laboratories GmbH
事業所名、部署名	Planegg/Munich
郵便番号	82152
所在地	Germany
電話番号	0049-89-899650-0
FAX 番号	0049-89-899650-11
メール	customerservice@repre.net
URL	<a href="http://www.bioservice.com">http://www.bioservice.com</a>
国内代理店	株式会社リブレ
代理店部署名	—
代理店郵便番号	103-0025
代理店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3
代理店電話番号	03-5643-2755
代理店 FAX 番号	03-5643-2756
代理店 URL	<a href="http://www.repre.net/">http://www.repre.net/</a>
GLP	ドイツ
GLP 基準以外の認証	DIN/EN ISO 17025 GMP US FDA registration
各種申請書類の作成等のサービス	○ : IUCLID5 フォーマットは、近日中に提供されます
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	○
アピールポイント	<p>BSL BIOSERVICE Scientific Laboratories GmbH は、1984 年創業、医薬、医療装置と化粧品のための非臨床試験だけでなく工業化学品、農薬および殺生物剤の安全性試験に重点を置くグローバルに有効な CRO です。様々な適格性、認証および多数の監査合格（GLP、DIN EN ISO 17025、GMP、FDA）を有する当研究所の学際的で国際的に認められた試験方法は、高品質の生物学的試験を保証します。</p> <p>その間にも、最近では 2008 年に、研究所は GLP に基づいて 7 回目の認証を取得し、全ての試験は国際的に有効なガイドライン（ISO、ICH、EU、OECD、EPA、MHW、FDA）に従って行われます。</p> <p>2007 年、私達は新しい最先端の in vivo 研究所へと拡大し、地方自治体（Regierung von Oberbayern/Germany）により“Gold Standard”として任ぜられました。非常に標準化された気候的で衛生的な環境は、試験物質の信頼できる安全性評価への第一歩です。</p> <p>25 年以上の経験を持って、私達の科学者チームは、広範囲の生物学的試験系を提供し、高度な柔軟性によってお客様の個々のニーズにお応えします。さらに私達は、科学および規制上の問題に関する個々のアドバイスを含み全ての関連試験のワンストップサービス（プロジェクトマネージャ）を提供します。</p>

項目	内容
事業者名	CERB
事業所名、部署名	chemin de Montifault
郵便番号	188800
所在地	BAUGY - France
電話番号	(33) 2 48 23 00 23
FAX 番号	(33) 2 48 26 11 87
メール	customerservice@repre.net
URL	<a href="http://www.cerb.fr">http://www.cerb.fr</a>
国内代理店	株式会社リブレ
代理店部署名	—
代理店郵便番号	103-0025
代理店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3
代理店電話番号	03-5643-2755
代理店 FAX 番号	03-5643-2756
代理店 URL	<a href="http://www.repre.net/">http://www.repre.net/</a>
GLP	フランス
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	Biotoxtech Co., Ltd.
事業所名、部署名	—
郵便番号	363-883
所在地	Ochang Scientific Industrial Complex, 686-2 Yangcheong-ri, Ochang-eup, Cheongwon-gun, Chungcheongbuk-do, KOREA
電話番号	+82-43-210-7777
FAX 番号	+82-43-210-7778
メール	—
URL	<a href="http://www.biotoxtech.com/">http://www.biotoxtech.com/</a>
国内代理店	岩瀬コスファ株式会社
代理店部署名	BIOX 事業部
代理店郵便番号	103-0022
代理店所在地	東京都中央区日本橋室町 4-3-18 東京建物室町ビル 5F
代理店電話番号	03-6202-2310
代理店 FAX 番号	03-6202-2362
代理店 URL	<a href="http://www.cosfa.co.jp/">http://www.cosfa.co.jp/</a>
GLP	韓国
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	WIL RESEARCH LABORATORIES, LLC
事業所名、部署名	1407 George Road, Ashland, Ohio
郵便番号	44805
所在地	1407 George Road, Ashland OHIO, USA
電話番号	419-289-8700
FAX 番号	419-289-3650
メール	info@wilresearch.com
URL	www.wilresearch.com
国内代理店	WIL リサーチジャパン 株式会社
代理店部署名	—
代理店郵便番号	105-0004
代理店所在地	東京都港区新橋 6-4-9 北海ビル新橋 5階
代理店電話番号	03-5776-5234
代理店 FAX 番号	03-5776-2624
代理店 URL	http://www.wilresearch.jp/index.php
GLP	米国
GLP 基準以外の認証	AAALAC
各種申請書類の作成等のサービス	○ : <a href="http://www.midwestbioresearch.com/program.htm">http://www.midwestbioresearch.com/program.htm</a>
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—

項目	内容
事業者名	Intertek
事業所名、部署名	Intertek ASG
郵便番号	M9 8ZS
所在地	Hexagon Tower, PO Box 42, Blackley, Manchester, UK
電話番号	0161 721 2955
FAX 番号	0161 721 1654
メール	customerservice@repre.net
URL	—
国内代理店	株式会社リプレ
代理店部署名	—
代理店郵便番号	103-0025
代理店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3
代理店電話番号	03-5643-2755
代理店 FAX 番号	03-5643-2756
代理店 URL	http://www.repre.net/
GLP	英国
GLP 基準以外の認証	GMP, GCP
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	Intertek ASG は、製品の特性評価と物理/化学的試験に要求される全ての分光学的技術とクロマトグラフィー技術が包括的に装備された分析試験所です。

項目	内容
事業者名	Product Safety Labs
事業所名、部署名	—
郵便番号	8810
所在地	2394 US Highway 130 Dayton NJ
電話番号	732-438-5100
FAX 番号	732-355-3275
メール	customerservice@repre.net
URL	www.productsafetylabs.com
国内代理店	株式会社リプレ
代理店部署名	—
代理店郵便番号	103-0025
代理店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3
代理店電話番号	03-5643-2755
代理店 FAX 番号	03-5643-2756
代理店 URL	http://www.repre.net/
GLP	—
GLP 基準以外の認証	—
各種申請書類の作成等のサービス	—
IUCLID5 形式へのデータ入力対応	—
アピールポイント	—